

現代中国語における日本語からの借用語^①

王立達 著
于康／澤谷敏行 訳

0.

日本語には古代中国語からの借用語がたくさん見られる。それと同じように現代中国語においても日本語からの借用語も多く見られる。それらの日本語からの借用語が大量に中国へ伝来し始めたのは19世紀末である。

明治維新以後、日本はたちまち資本主義社会になった。当時、中国知識人の愛国者は西洋資本主義を学んだ日本がかなりの成果を挙げているのを見て、日本に倣って新法を実施して革新を図ろうと主張していた。例えば、1898年の「戊戌の変法」は日本明治維新の影響を受けて起こったものである。「戊戌の変法」が失敗した後、梁啓超は日本に渡り、横浜で『清議報』と『新民叢報』を創刊した。この二紙に載せられた文章の中では大量の日本語の語彙が使われていた。梁氏は「論学日本文之益」や「東籍月旦」などの文章を發表し、中国人に日本語を学び、日本の書物を読むよう呼びかけていた。

1896年から、清政府が日本へ留学生を派遣し始め、1900年以後、人数が次第に増えた。1905年孫文が「同盟会」を創設してからは、日本の中国人留学生のほとんどがこの革命組織に参加した。彼らは『民報』を創刊し、当時改革派の『新民叢報』とイデオロギーに関する論戦を繰り広げていた。『民報』に掲載された文章の中に

① 訳者注：『中国語文』1958年2月号「現代漢語中從日語借来的語彙」を翻訳したものである。紙幅の関係で文章の最後の一部を省略している（論旨に影響しない）。

も数多くの日本語の語彙が使われていた。

当時、日本の中国人留学生は西洋の資本主義的な教育を受け、当時進歩的と見なされる思想を受け入れ、一致協力して書物の編集翻訳に力を注ぎ、『訳書彙編』という雑誌を創刊した。彼らの努力により、哲学、社会科学、自然科学などの書物も次々に中国に紹介され、日本の書物が翻訳されると同時に、大量の現代日本語の語彙も中国に伝わった。

現代中国語における日本語からの借用語には、科学技術の専門用語がもつとも多い。そのほか、一般的な用語もある。それらの語彙は今日の中国の書物や新聞雑誌に使われている書き言葉の中に数多く見受けられる。『新名詞詞典』や『新知識詞典』などの辞書を開いてみればそこに現れる語彙の半分以上が日本語からの借用語であることがわかる。それらの語彙のほとんどは明治維新以後、日本人が西洋の書物を翻訳するときにしたものである。したがって、歴史的な観点から見れば、それらの語彙は、中国の人々にとって「新しい名詞」であるだけでなく、日本人にとっても、同様にこの百年来に現れてきた「新語」であると見なされている。

日本人が西洋の書物を翻訳するとき、「音訳」と「意識」といった二つの方法を用いている。「音訳法」によって翻訳されるものは、例えば「ガス」、「コンクリート」などのように、のちにいわゆる現代日本語の「外来語」となる。これらの「外来語」は、例えば「ガス」を「瓦斯」と書き、「コンクリート」を「混凝土」と当初は漢字で表記していたが、現在ではふつうカタカナで表記している。「意識法」によって翻訳されるものは、例えば「交響楽 (symphony)」や「倫理学 (logic)」などのように、漢字で表記している。その中にごく少数の、例えば「貸方」を「カシカタ」と読み、「借方」を「カリカタ」と読むように「訓読法」を用いているものを除いて、大多数は、例えば「交響楽」を「コウキョウガク」と読み、「倫理学」を「リンリガク」と読むように「音読法」を用いている。この種の語彙は日本語の中には極めて多く、日本人にとっては、「外来語」というより、むしろ日本語の固有の語彙と変わらないものと見なされている。

次に、日本語からの借用語の種類について説明する。

1.

日本語の漢字に音訳された「外来語」をそのまま中国語^②に借用したもの。例えば：

原文	漢字	カタカナ
Katarrh(ドイツ語)	加答兒	カタル
Gas	瓦斯	ガス
mètre(フランス語)	米(または「米突」)	メートル
Cholera	虎列刺(虎列拉)	コレラ
Lymph	淋巴	リンパ
Concrete	混凝土	コンクリート
Typhus	膾扶斯	チフス
Club	倶楽部	クラブ
Romantic	浪漫	ロウマン
Soda	曹达	ソウダ

上述の用例における漢字と原文との音を対照してみると、日本語の漢字音に基づいて音訳されたことがわかる。例えば「gas」が「瓦斯」と訳されるのは日本語の漢字音の「瓦」を「ga」と読むからであり、「concrete」が「混凝土」と訳されるのも「混」という日本語の漢字音を「kon」と読むからである。もし中国人が現代中国語の漢字音に従って音訳したならば、これらの漢字は使われていなかったであろう。

また、この種の借用語には一つの興味深い現象が見られる。つまり、当時の日本人は漢字を「外来語」の当て字として使うとき、「混凝土」や「倶楽部」などのように、意識的に音と意味とが関連のある文字を選択していたということである。

2.

日本語の漢字で「訓読」される（音読はしない）もので、中国語に借用したもの。例えば：

② 訳者注：原稿は1958年に刊行されたものであるため、使われている中国の漢字は1958年代の中国の漢字であり、現在通用しているものとは書き方がすこし違っている。表記の整合性のため、現在通用している漢字に統一した。

エクス 言語文化論集 第2号

漢字	訓読み	意味
入口／入口 ^③	イリグチ	公共場所の正門
出口／出口	デグチ	同上
小型／小型	コガタ	新聞の紙幅や集会の規模を指すのに使う
大型／大型	オオガタ	同上
立場／立場	タチバ	
片艶／片艶	カタザセ	紙の種類(片面光沢紙)
打消／打消	ウチケシ	
引渡／引渡	ヒキワタシ	法律用語、「引き渡し」や「移送」の意味
市場／市場	イチバ	経済用語
广场／広場	ヒロバ	
取消／取消	トリケシ	
取締／取締	トリシマリ	法律用語
手続／手続	テツズキ	
場所／場所	バシヨ	
見習／見習	ミナライ	「実習」の意味
組合／組合	クミアイ	他に「協同組合」とされることもある
憧憬／憧憬	アコガレ	思慕による想像
味之素／味之素	アジノモト	調味料の名前

以上は日本人が作った語彙である。

漢字(原文)	訓読み	意味
借方／借方(debit)	カリカタ	簿記用語、「収入項」
貸方／貸方(credit)	カシカタ	「支出項」
大熊座／大熊座(ursa major)	オオクマザ	星座名
小熊座／小熊座(ursa minar)	コグマザ	同上
但书／但書(proviso)	タダシガキ	法律用語

以上は日本人が「意識法」を用いて翻訳した外国語の語彙である。

上掲の用例の中に、「手続／手続」や「場合／場合」などのように一般的な用語もあれば、また「引渡／引渡」や「借方／借方」などのように専門用語もある。語源から言えば、「片艶紙／片艶紙」や「味之素／味之素」などのように日本人が作ったものもあれば、「意識法」により外国語から借用したものもある。これらの語彙は日本人にとって固有の語彙とまったく変わらない日本語となっている。現代中国語においても、例えば「手続／手続」や「立場／立場」や「場合／場合」などはすでに日常用語として使われている。

③ 訳者注：「／」の左は中国語の漢字で、右は日本語の漢字である。以下同じ。日本語の漢字の中に現在使われていないものも含まれている。

3.

「意識法」により訳された外国語の語彙で、「音読」される（訓読はしない）もの。例えば：

1) 反対や対照的意味で対をなす語彙で、現代日本語から借用したもの。

絶対—相對／絶対—相對	积极—消极／積極—消極
直接—間接／直接—間接	高潮—低潮／高潮—低潮
高压—低压（電気）／高压—低压	高温—低温（気象）／高温—低温
广义—狭义／広義—狭義	左翼—右翼（政治）／左翼—右翼
主动—被动／主動—被動	主体—客体／主体—客体
主观—客观／主観—客観	乐观—悲观 ¹⁾ ／樂觀—悲觀
肯定—否定／肯定—否定	时间—空间（哲学）／時間—空間
直流—交流（電気）／直流—交流	理性—感性（哲学）／理性—感性
暖流—寒流（気象）／暖流—寒流	优点—缺点／優點—缺點
强化—弱化／強化—弱化	进化—退化／進化—退化
硬化—软化／硬化—軟化	优势—劣势／優勢—劣勢
长波—短波（電気）／長波—短波	内在—外在（哲学）／内在—外在
预算—决算（財政）／予算—決算	可决—否决（政治）／可決—否決
动态—静态／動態—靜態	必然—偶然（哲学）／必然—偶然
质量—数量／質量—數量	入超—出超（貿易）／入超—出超
动脉—静脉（生理）／動脈—靜脈	动力—静力（物理）／動力—靜力
热带—寒带（地理） ／熱帶—寒帶	上水道—下水道（工学） ／上水道—下水道
地上水—地下水（水文） ／地上水—地下水	内分泌—外分泌（生理） ／内分泌—外分泌
重工业—轻工业（工業） ／重工業—輕工業	单子叶—双子叶（植物） ／單子葉—雙子葉
通货膨胀—通货收缩（財政） ／通貨膨脹—通貨收縮	财团法人—社团法人（法律） ／財團法人—社團法人
使用价值—交换价值（經濟） ／使用価値—交換価値	显花植物—隐花植物（植物） ／顕花植物—隱花植物
火成岩—水成岩（地質） ／火成岩—水成岩	阳极—阴极（電気） ／陽極—陰極
高周波—低周波（電気） ／高周波—低周波	动产—不动产（法律） ／動産—不動産
债权—债务（法律） ／債權—債務	可变资本—不变资本（經濟） ／可變資本—不變資本
流通資本—固定資本（經濟）／流通資本—固定資本	

1) 「悲觀」はもともと仏典用語。日本語では「樂觀」の反対語として使われている。

エクス 言語文化論集 第2号

2) 一般的な用語と専門用語から借用したもの。

石油 (鉱業) / 石油	出版 (文化) / 出版
仲裁 (法律) / 仲裁	支配 / 支配
分配 (経済) / 分配	民主 (政治) / 民主
民族 / 民族	方案 / 方案
方针 / 方針	政党 (政治) / 政党
政策 (政治) / 政策	量子 (物理) / 量子
原子 (物理) / 原子	分子 (物理) / 分子
电子 (物理) / 電子	元素 (化学) / 元素
保健 (衛生) / 保健	保证 / 保証
理事 / 理事	干事 / 幹事
系统 / 系統	传统 / 伝統
连络 / 連絡	连系 / 連係
斗争 / 闘争	国际 (政治) / 国際
协定 (外交) / 協定	协会 / 協会
协议 / 協議	社交 / 社交
社会 / 社会	社团 / 社團
批判 / 批判	企业 (経済) / 企業
投资 (経済) / 投資	广告 (商業) / 広告
景气 (経済) / 景気	配给 (経済) / 配給
重点 / 重点	法则 / 法則
范畴 (哲学) / 範疇	道具 (演劇) / 道具
剧场 (演劇) / 劇場	象征 / 象徵
现实 / 現実	抽象 / 抽象
具体 / 具体	前提 / 前提
扬弃 (哲学) / 揚棄	活动 / 活動
运动 (政治) / 運動	动员 (政治) / 動員
阶级 / 階級	讲座 (教育) / 講座
典型 / 典型	版画 (美術) / 版画
干部 / 幹部	性能 / 性能
计划 / 計画	进度 / 進度
历史 / 歴史	派遣 / 派遣
卫生 / 衛生	弧光 (電気) / 弧光
调节 / 調節	调整 / 調整
细胞 (生理) / 細胞	电流 (電気) / 電流
电池 (電気) / 電池	电波 (電気) / 電波
结核 (医学) / 結核	地质 / 地質
科学 / 科学	流感 (病理) / 流感
神经 (生理) / 神經	行政 / 行政
业务 / 業務	背景 / 背景
代表 / 代表	报告 / 報告

于・澤谷：現代中国語における日本語からの借用語

侵略／侵略	警察／警察
番号（軍事）／番号	类型／類型
伦理（哲学）／倫理	原理／原理
生理／生理	物理／物理
心理／心理	气体（物理）／気体
液体（物理）／液体	流体（物理）／流体
储蓄／儲蓄	农民／農民
宗教／宗教	特务／特務
方式／方式	方法／方法
权利（法律）／權利	义务（法律）／義務
思潮／思潮	意识／意識
解剖（医学）／解剖	资本（經濟）／資本
基地（軍事）／基地	会谈／會談
论文／論文	论坛／論壇
论战／論戰	指数（經濟）／指數
指导／指導	轨范／軌範
动机／動機	商业／商業
工业／工業	建筑（工学）／建築
机械（工学）／機械	资料／資料
欢送／歡送	年度／年度
作品／作品	理想／理想
理念（哲学）／理念	理性（哲学）／理性
理论／理論	现代／現代
固体（物理）／固体	现役（軍事）／現役
现金／現金	现象／現象
现实／現實	环球／環球
巨头／巨頭	关系／關係
作用／作用	幻灯／幻灯
体操／体操	体育／体育
讲演／講演	事变（政治）／事變
基准／基準	宣誓／宣誓
宣战（外交）／宣戰	营养／營養
总理（政治）／總理	公债（財政）／公債
信托（經濟）／信託	文库（文化）／文庫
电信（通信）／電信	电话（通信）／電話
同盟／同盟	世纪／世紀
反应／反應	事变（政治）／事變
温度／溫度	温室（園芸）／溫室
温床／温床	促进／促進
促成／促成	进化／進化
进展／進展	常识／常識
演出／演出	演习／演習

エクス 言語文化論集 第2号

演奏 (音楽) / 演奏	漫画 (美術) / 漫画
漫谈 / 漫談	漫笔 (文学) / 漫筆
冒进 / 冒進	会话 (国語) / 会話
命题 / 命題	假定 / 仮定
假想 / 仮想	假释 (法律) / 仮釈
胶着 / 膠着	时效 (法律) / 時効
放射 (物理) / 放射	注射 (医学) / 注射
紧张 / 緊張	紧缩 / 緊縮
动议 / 動議	主笔 (新聞) / 主筆
入场券 / 入場券	人力车 / 人力車
二重奏 (音楽) / 二重奏	代言人 / 代言人
百货店 / 百貨店	太阳灯 / 太陽灯
交响乐 (音楽) / 交響樂	舶来品 / 舶来品
牵引车 / 牽引車	辩证法 / 弁証法
紫外线 / 紫外線	配电盘 (電気) / 配電盤
检波器 (電気) / 檢波器	变压器 (電気) / 變圧器
真空管 (電気) / 真空管	血色素 (生理) / 血色素
单行本 / 単行本	誊写版 / 謄写版
印刷品 (文化) / 印刷品	出版物 (文化) / 出版物
博览会 (文化) / 博覽會	展览会 (文化) / 展覽會
图书馆 (文化) / 図書館	农作物 (農業) / 農作物
巡洋舰 (軍事) / 巡洋艦	驱逐舰 (軍事) / 驅逐艦
运动场 (体育) / 運動場	总动员 / 総動員
常备兵 (軍事) / 常備兵	假想敌 (軍事) / 仮想敵
预备役 (軍事) / 予備役	传染病 (病理) / 伝染病
低能儿 / 低能児	手工业 / 手工業
参考书 / 参考書	所得税 (財政) / 所得税
所有权 / 所有權	手榴弹 (軍事) / 手榴彈
军需品 (軍事) / 軍需品	图案画 (美術) / 図案画
高利贷 (經濟) / 高利貸	悬雍垂 (生理) / 懸雍垂
摄护腺 (生理) / 攝護腺	催眠术 / 催眠術
病虫害 (農業) / 病虫害	大本营 (軍事) / 大本營
神经过敏 / 神經過敏	神经衰弱 / 神經衰弱
空袭警报 / 空襲警報	灯火管制 / 灯火管制
防空演习 / 防空演習	航空母舰 (軍事) / 航空母艦
土木工程 (工程) / 土木工程	意识形态 (哲学) / 意識形態
经济恐慌 (經濟) / 經濟恐慌	生产手段 (經濟) / 生産手段
生产关系 (經濟) / 生産關係	交感神经 / 交感神經
交战团体 / 交戦団体	同盟罢工 / 同盟罷工
新闻记者 / 新聞記者	攻守同盟 / 攻守同盟
国际公法 / 國際公法	

上掲の例には「斗争／鬭争」、「批判／批判」、「派遣／派遣」、「报告／報告」、「调整／調整」、「社会／社会」、「方法／方法」などのように、「同義多音節語」が多い。上掲の語彙は現代中国語の語彙が多音節化されつつあるという傾向に一致しているので、中国人に受け入れられて、中国語の固有の語彙として使われるようになったのである。

3) 学問分野の名称で、日本語から借用したもの。

哲学／哲学	心理学／心理学
论理学／論理学	伦理学／倫理学
民族学／民族学	经济学／経済学
财政学／財政学	化学／化学
自然科学／自然科学	物理学／物理学
卫生学／衛生学	解剖学／解剖学
病理学／病理学	下水工学／下水工学
土木工程／土木工程	河川工学／河川工学
电气通信学／電気通信学	建筑学／建築学
机械工学／機械工学	簿记学／簿記学
冶金学／冶金学	园艺学／園芸学
和声学／和声学	工艺美术学／工芸美術学

4) 現代中国語において、語尾²⁾が「化」、「式」、「炎」、「力」、「性」、「的」、「界」、「型」、「感」、「点」、「观」、「线」、「论」、「率」などである場合、そのほとんどは現代日本語からの借用語か日本語の語構成法によって作られたものかである。例えば：

(1) 語尾が「化」のもの

一元化／一元化	多元化／多元化	一般化／一般化
公式化／公式化	特殊化／特殊化	现代化／現代化
工业化／工業化	民族化／民族化	科学化／科学化
大众化／大衆化	自动化／自動化	电气化／電氣化
长期化／長期化	口语化／口語化	理想化／理想化

2) ここでは「語尾」という名称をしばらく借りるだけである。語尾とみなすべきか否かについて、当然まだ議論しなければならない。

(2) 語尾が「式」のもの

速成式／速成式	問答式／問答式	流动式／流動式
簡易式／簡易式	方程式／方程式	恒等式／恒等式
西洋式／西洋式	日本式／日本式	

(3) 語尾が「炎」のもの³⁾

肺炎／肺炎	肠炎／腸炎	关节炎／關節炎
胃炎／胃炎	肋膜炎／肋膜炎	腦炎／腦炎
气管炎／氣管炎	心脏内膜炎／心臟内膜炎	

(4) 語尾が「力」のもの

支配力／支配力	生产力／生産力	消费力／消費力
想像力／想像力	劳动力／労働力	记忆力／記憶力
表現力／表現力		

(5) 語尾が「性」のもの

可能性／可能性	现实性／現實性	必然性／必然性
偶然性／偶然性	周期性／周期性	放射性／放射性
广泛性／広汎性	原则性／原則性	习惯性／習慣性
感受性／感受性	传统性／伝統性	诱惑性／誘惑性
必要性／必要性	创造性／創造性	

(6) 語尾が「的」のもの

历史的／歴史的	民族的／民族的	科学的／科学的
大众的／大衆的	自然的／自然的	必然的／必然的
偶然的／偶然的	公开的／公開的	秘密的／秘密的

(7) 語尾が「界」のもの

文学界／文学界	思想界／思想界	艺术界／芸術界
金融界／金融界	司法界／司法界	新闻界／新聞界
教育界／教育界	出版界／出版界	

3) これらの語彙はすべて病理学の専門用語。「炎」は中国語においては本来「腫れ膨れる」という意味を持っていない。現代中国語に使われる病名はやはり日本人がラテン語の *inflammatio* を翻訳するとき新たな意味を付与したものである。

(8) 語尾が「型」のもの

新型／新型	流线型／流線型	标准型／標準型
-------	---------	---------

(9) 語尾が「感」のもの

美感／美感	好感／好感	恶感／悪感
情感／情感	性感／性感	优越感／優越感
敏感／敏感	紧张感／緊張感	读后感／読後感

(10) 語尾が「点」のもの

重点／重点	要点／要点	焦点／焦点
注意点／注意点	出发点／出発点	观点／観点

(11) 語尾が「观」のもの

主观／主観	客观／客観	悲观／悲観
乐观／楽観	人生观／人生観	世界观／世界観
宇宙观／宇宙観	科学观／科学観	

(12) 語尾が「线」のもの

生命线／生命線	饥饿线／飢餓線
交通线／交通線	战线／戦線

(13) 語尾が「论」のもの

一元论／一元論	宿命论／宿命論	无神论／無神論
唯物论／唯物論	唯心论／唯心論	认识论／認識論
方法论／方法論	推论／推論	结论／結論

(14) 語尾が「率」のもの

效率／効率	能率／能率
生产率／生産率	使用率／使用率

(15) 語尾が「法」のもの

辩证法／弁証法	归纳法／帰納法	演绎法／演繹法
综合法／總合法	分析法／分析法	表现法／表現法
机械工作法／機械工作法		

エクス 言語文化論集 第2号

以上のほかに、「作用／作用」、「問題／問題」、「時代／時代」、「社会／社会」、「主義／主義」、「階級／階級」などとともに構成された語句やフレーズも日本語からの借用語である。例えば：

(1)

同化作用／同化作用	异化作用／異化作用
精神作用／精神作用	心理作用／心理作用

(2)

人口問題／人口問題	土地問題／土地問題
社会問題／社会問題	民族問題／民族問題
国際問題／国際問題	

(3)

旧石器时代／旧石器時代	新石器时代／新石器時代
金石并用时代／金石併用時代	铜器时代／銅器時代
铁器时代／鉄器時代	原子时代／原子時代

(4)

原始共产社会／原始共產社会	奴隶社会／奴隸社会
封建社会／封建社会	资本主义社会／資本主義社会
共产主义社会／共產主義社会	

(5)

人文主义／人文主義	自然主义／自然主義	浪漫主义／浪漫主義
现实主义／現實主義	封建主义／封建主義	资本主义／資本主義
帝国主义／帝國主義	社会主义／社會主義	共产主义／共產主義

(6)

地主阶级／地主階級	农民阶级／農民階級
有产阶级／有産階級	无产阶级／無産階級

4.

本来は日本語の語彙であるが、中国語に借用された後、本来の意味と異なる意味が生じたもの。例えば：

- (1) 労働者：(労働者)^④。日本語の本来の意味は産業労働者を指すものであるが、借用された後、中国語では一般労働者の総称となる。
- (2) 辯護士：(弁護士)。日本語の本来の意味は弁護士を指すものであるが、借用された後、中国語では人のために弁護する者の総称となる。
- (3) 物語：(物語)。本来の意味は、例えば『源氏物語』や『平家物語』などのように通俗小説を指すものである。民国初年、世界書局、中華書局が刊行している児童図書では、専ら動物童話のことを指している。

5.

本来は古代中国語の語彙であり、日本語に借用され西洋の近代専門用語の意識語として使われていたが、その後、日本語からまた中国語に借用され、古代中国語の意味と異なる現代中国語として使われているもの。例えば：

- (1) 索引：(索引)。出所が易林の「索引不得」。日本語では、index の意識語として使われているが、中国語でも同じ意味として使われている。
- (2) 组织：(組織)。本来は「紡績」の意味。例えば『遼史・食貨志』には「樹桑麻，習組織」がある。今日中国語によく見られる「组织机构／組織機構」や「政治组织／政治組織」などの言い方が日本語からの借用語である。
- (3) 经济：(経済)。本来は「經世濟民」の意味であり、現代中国語の「政治／政治」に相当する。現代日本語では economy の意識語として使われているが、中国語でも同じ意味として使われている。「経済」は、例えば「经济菜／経済的な料理」や「时间经济／時間には経済的である」などのように「節約」と解される意味も日本語からの借用である。
- (4) 文法：(文法)。本来は法律の条文の意味。出所が『史記・汲黯伝』の「弘

④ 訳者注：() 内の漢字は日本語の漢字である。訳者による。以下同じ。

大体、不拘文法」。日本語では *grammar* の意識語として使われているが、中国語でも同じ意味として使われている。

- (5) 意味：(意味)。本来は趣があり玩味に値するという意味。例えば「意味深長／意味深長である」。今日中国語において「意味／意味」のあとに「着」を加えて動詞として使われている、例えば「这句话意味着○○○」という言い方も日本語の「○○○を意味している」という文型から借用してきたものである。
- (6) 共和：(共和)。出所が『史記・周本紀』の「厉王奔于彘，召公、周公二相行政、号曰共和」。日本語では *republic* の訳語として使われているが、今日中国語でも同じ意味として使われている。
- (7) 形而上学：(形而上学)。「形而上」の出所が『易経』の「形而上者謂之道」。日本語では *metaphysics* の意識語として使われている。
- (8) 宪法：(憲法)。出所が『国語・晋語』の「賞善罰姦，国之宪法也」。日本語では *constitution* の意識語として使われているが、中国語でも同じ意味として使われている。
- (9) 唯心：(唯心)。本来は仏典用語。日本語では *idealism* の意識語として使われているが、中国語でも同じ意味として使われている。
- (10) 唯物：(唯物)。出所が『易経』の「盈天地之間唯万物」。日本語では *materialism* の意識語として使われているが、中国語でも同じ意味として使われている。
- (11) 地主：(地主)。出所が『左伝』の「夫諸侯之会，事既畢矣，侯伯致礼，地主归餽」。今日で言う「地主阶级／地主階級」は日本語からの借用語である。
- (12) 知识：(知識)。本来は仏典用語。今日で言う「知识／知識 (*knowledge*)」は日本語からの借用語である。
- (13) 人道：(人道)。本来は夫婦間の行為を意味する。今日でよく使われている「人道主义／人道主義 (*humanitarianism*)」は日本語からの借用語

である。

- (14) 保険：(保險)。本来は険要な地勢に拠って自分を守るという意味。出所が権徳與『岐公遺愛碑』の「朱崖黎民，保險三代」。「保險公司／保險会社」の「保險／保險」は日本語からの借用語である。
- (15) 生産：(生産)。出所が『史記』の「不事家人生産作業」。今日経済学に使われている「生産／生産 (production)」は日本語からの借用語である。
- (16) 雑誌：(雜誌)。本来は読書メモの意味。例えば、王念孫の『读书杂志』。今日定期刊行物を「雑誌／雜誌」と称するのは日本語からの借用語である。

6.

字形や意味も日本人が作ったが、中国語に借用されたもの。例えば：

- (1) 腺：(腺)。日本語の漢字音は「セン」。gland の訳語。ある液体を分泌する器官を指す。例えば、「甲状腺／甲状腺」、「淋巴腺／淋巴腺」、「内分泌腺／内分泌腺」など。
- (2) 膣：(膣)。日本語の漢字音は「チツ」。Vagina の訳語。例えば、「膣加答儿 (cotarhus vaginee)」(婦人のこしけ病)。
- (3) 癌：(癌)。日本語の漢字音は「ガン」。例えば、「肝癌／肝癌」、「胃癌／胃癌」、「乳癌／乳癌」など。
- (4) 耗：(耗)。ミリメートルの当て字。millimeter の訳語の略。
- (5) 糳：(糳)。センチメートルの当て字。centimeter の訳語の略。
- (6) 吋：(吋)。インチの当て字。inch の訳語の略。
- (7) 呎：(呎)。フートの当て字。foot (pl.feet) の訳語の略。
- (8) 碼：(碼)。ヤードの当て字。yard の訳語の略。
- (9) 料：(料)。キロメートルの当て字。kilometer の訳語の略。
- (10) 哩：(哩)。マイルの当て字。mile の訳語の略。

エクス 言語文化論集 第2号

(11) 𤝵：(𤝵)。キログラムの当て字。kilogram の訳語の略。

(12) 吨：(吨)。トンの当て字。ton の訳語の略。

7.

次の現代中国語は中国人が日本語を訳すときに作ったもの。

- (1) 基于 (〇〇に基づいて)
- (2) 关于 (「〇〇に関する」または「〇〇に就いて」)
- (3) 对于 (〇〇に対して)
- (4) 由于 (〇〇に由って)

以上は語尾が「于」の前置詞である。

- (5) 认为 (〇〇と認められて)
- (6) 成为 (〇〇と成って)
- (7) 视为 (〇〇と視なして)

以上は語尾が「为」の動詞である。

8.

二十世紀の初にしばらく使われていたが、現在はすでに使われていないもの。例えば：

- (1) 劳动组合：(労働組合)。つまり「工会／労働組合」。中国では最初「工会／労働組合」を創設するとき、この名詞を使っていた。例えば、1921年7月中国共産党第一回党大会の後、労働者運動を指導する機関として、「中国劳动组合书记部／中国労働組合書記部」が創設された。
- (2) 劳农政府：(労農政府)。つまり「工农政府／労働者農民政府」。ソビエト政府の意識。日本では「工人」を「労働者」と呼ぶので、「工农政府」を「労农政府／労農政府」と称したのである。ロシアの十月革命が勝利したあと、中国の新聞ではしばらくこの名称

を使っていた。

要するに、現代中国語には日本語からの借用語が数多く含まれている。それらの語彙の借入は、中国語の語彙を豊かにしただけでなく、近代科学技術の理解にも大変役に立っているのである。

振りかえって見れば、清の末期、中国の学者が economics を「計学」^⑤、または「資生学」^⑥と訳し、philosophy を「理学」^⑦、または「智学」^⑧と訳し、sociology を「群学」と訳し、physics を「格致学」と訳していた。しかし、このような古典から語句や典故を引用するという翻訳法は通用しなかった。なぜならそれら自身に解決できない問題があったからである。つまりすべての新しい事物について古典から1つ1つ選び出しそれに当てはまる名称を見つけることができなかつたのである。したがって、「計学」または「資生学」、「理学」または「智学」、「群学」、「格致学」がやがて「経済学」、「哲学」、「社会科学」、「物理学」にそれぞれ取って代わられた。要するに日本人が西洋の近代科学技術の専門用語を翻訳するときに使われていた意識法は、新しい事物を発展させるのに適合した方法であったと言えよう。

毛沢東が『反对党八股』において次のように指摘している。

外国の言葉の中からわれわれに必要な要素を吸収することである。われわれは外国の言葉を無理に取り入れたり、やたらに使うのではなく、外国の言葉の中のよいもの、われわれに適するものを吸収しなければならない。それは、中国にもとからある語彙では足りないからであって、現在のわれわれの語彙の中には外国から吸収したものがたくさんある。例えば今日開いている幹部大会の、この「幹部」という二字は、外国から学んだものである。われわれはもっとも外国の新しいものを吸収しなければならないし、かれらの進歩した理論を吸収するだけでなく、かれらの新鮮な用語も吸収しなければならない。(毛沢東選集 858～859 頁)

⑤ 严复氏の訳語。

⑥ 梁啓超氏の訳語。

⑦ 新約全書歌羅西書を参照。

⑧ 梁啓超氏の訳語。

毛沢東がここで挙げた「幹部／幹部」という二文字はまさに日本語からの借用語である。毛沢東の指摘に従えば、日本語をそのまま使用する「協和語」^⑨ 式の語句を排斥すべきであるが、すでに中国人に馴染まれており、しかも中国語の一部になった日本語の語彙は、「よいもの」と見なし、それらを吸収し使用すべきであることになる。事実上、今日でも^⑩ 日本語の語彙は中国に取り入れられている。例えば、「电视／電視 (television)」は日本語から借用された新語である。「基本建設／基本建設」や「居民点／居住地区」などの新語は日本語ではないが、中国人が現代日本語の語構成法に基づいて作ったものである。現代日本語の語彙が現代中国語に及ぼす影響はいかに深いかかわかるであろう。

最後に、特記におきたいのは、日本語からの借用語は現代中国語に使われるようになってからすでに半世紀経ったので、その多くの語彙は日本語からの借用語なのか中国人が自らで作ったものなのかがわからなくなってしまったという点である。本稿で挙げた語彙は、単に一例に過ぎないので、誤りがあれば、ご指摘や補足を賜りたい。

⑨ 訳者注：「協和語」とは、戦時中の中国東北に成立された「協和会」の中国人たちが中国語を話すときに使っていた日本語の語句のことである。

⑩ 訳者注：この「いま」は1958年代を指す。